

東京都心でパーク0!
渋谷と新宿に挟まれた代々木公園は不思議なオリエンテーリング空間だ。

渋谷で走る会 10周年記念
代々木公園パーク0
2004年10月23日(土)
東京都渋谷区代々木公園

動揺! 青ビニ団地

会場からスタート誘導に従って陸橋を渡ると、そこには代々木公園の森が広がる。すでにそこから怪しい雰囲気が出てきている。

スタートレーンの目の前では、太極拳がゆらりゆらり。オリエンテーリングのスタート枠くらいで揺らぐ精神ではないようだ。



代々木公園の地図(一部)
縦ハッチの部分に青ビニ団地区域。
地図はスプリン競技用地図基準 ISSOM に従って作成されている。

地図を手によく整備された公園の森に飛び出す。あれ? さっき横切った道路に巨大レフ板とマイクを持った人が居たぞ。もしかしてロケ横切ってNG出してしまったかな?

きれいな森と広場が広がる。大学生男女の合ハイ(古いなぁ)の横を駆け抜け、まずは1番をパンチ。道に脱出すると大勢の行楽客。2番に向かう途中では公園整備の草刈機がけたたましい。

1:5,000の地図とスプリント用の地図表記にやっと慣れ、スピードも上がってきた。そろそろ森をショートカット。おおっ!なんだなんだ、この難民キャンプは。びっくりしたなー。走行可能の森の中に、巨大な青ビニールのテント村が広がっている。今までこんなトレイン走ったことがない。この時の動揺がその直後のミスを生む。



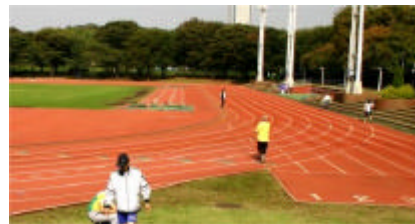
代々木公園の一角に広がる青ビニ団地。
その戸数は難民キャンプ並み。

道路部分に出ると公園清掃ボランティア団体の巨大な塊を避けるのが一苦労。道は人が多いので走りにくい。そこで森に入りスピードを上げてゆくと、いきなり芝生広場で寝ている人を踏みそうになる。いい天気だもんなあ。

とても22分とは思えない、濃いレースだ。

渋谷で走って10周年

この代々木公園パーク0はオリエンテーリングクラブ「渋谷で走る会」結成10周年記念で開催された。10年前の結成の様子を渋谷で走る会のwebページでは次のように紹介している。



今回の会場「織田フィールド」
渋谷で走る会の練習場所でもある

加賀屋博文と国沢五月の二人は共に

1994年9月にドイツとチェコで行われたオリエンテーリングのWorld Cupに参戦した。大会では走りやすいコンチネンタルトレインにおける外国選手とのスピードの差を痛感し、このままでは来年のドイツでの世界選手権は戦えないと思い知らされた。そして二人はレースが終わったチェコの地で来年に向けてスピードトレーニングを実施しようと強く誓い合った。

帰国後、代々木公園陸上競技場(通称織田フィールド)が毎週水曜日に一般開放されていると知り、原宿駅で待ち合わせをして二人で初めて織田フィールドに足を踏み入れた。1994年10月19日、それが渋谷で走る会の誕生した日となった。

競技場は熱心なランナーで溢れかえっていた。その雰囲気に魅せられた二人は、毎週ここでトレーニングを継続することを決めた。



織田フィールドはNHK放送センター(渋谷)の直下。更衣室、シャワー、ロッカー完備。

今も織田フィールドは日本のトップ選手を送り出している

(木村佳司)

代々木公園パーク0 優勝者

SPRIN	山口大助	0:13:59	ES 関東 C
A	早野哲朗	0:18:57	京葉 OLC
B	金子充	0:18:14	さいたま市
N	山川郁加	0:24:18	山川家姉妹